

会議名	第 46 期 一八会 第 1 回 準備役員会議事録			2025 年 2 月 6 日	
				書記	堀
議 題	年間テーマ、運営スケジュール、役割分担、例会素案発表、視察研修案、分科会について等				
日 時	2025 年 2 月 4 日(火) 19:00～21:00		場 所	菅原乳業株式会社 会議室	
参加者	役 職	氏 名		役 職	氏 名
参 加 者	会長予定者	菅原 州平		幹事予定者	表 宏明
	副会長予定者	北浦 宏祐		幹事予定者	砂村 亮太
	会計予定者	堀 良介		幹事予定者	本田 龍祐
				幹事予定者	岡本 康寛
				幹事予定者	清水 風馬
				幹事予定者	中村 和丸

No	表 題	内 容
1	開会挨拶	<p>菅原会長予定者</p> <p>本日 46 期の活動が始まります。来年の総会の前半まで約 15 カ月宜しくお願いします。初めての役員の方も選ばせて頂いたので目いっぱいやっていきたいと考えています。</p> <p>46 期年間テーマ「力強い経営～自社の発展と継続のために～」(資料あり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営者として、不安定な世の中で経営を行う難しさを感じている。特にスタッフとの日常的な会話の中でも社会全体の不透明さを感じるが多いが、経営者としてその不安を社員に示すことなく力強く経営を進める能力を付けていくことを根底に置きながらこのテーマに対してみんなで当たっていききたい。 ・皆さんのどんなアイデアも受け止められるテーマと思いこの内容に決定した。 ・各自例会を持っていた中で忙しい中時間を取らせることになるが、どうせならご自身でやったことの無いこと、知らないことに挑戦して、ばっちり会社に生きる勉強にしてほしい。以上は私からのお願いでもあるし、そうあってこそ一八会の価値があると思う。 ・経営者は本当に多種多様なことをしないとイケないし、実践しないとイケない立場なのでその直接的な一助となる 15 カ月にしていきたい。
2	三役候補者挨拶	<p>北浦副会長予定者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員が不安を感じる事のない運営をサポートし、ワンチームとして活動を推進する。 <p>堀会計予定者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身も学びながら、1 年間役割を全う。自分の限界より少し上を目指し、良い役員会だったと振り返られるよう尽力。
3	年間スケジュール(案)	<p>資料参照「令和 7 年(46 期)一八会年間スケジュール」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例会日程: 第 2 火曜日 18:30～ (変動月あり) ・役員会日程: 第 4 火曜日 19:00～ (変動月あり) ・原則全員参加。日程変更がある場合は事前調整を行う。

No	表 題	内 容																										
		<div>・場所はその都度検討。</div> <div>・例会当日は 1 時間前(17:30)集合が基本になる予定。ただし、例会の内容や準備のボリュームで変動するので直近の役員会で決定する。</div> <table><tr><th>日程</th><th>備考</th></tr><tr><td>令和 7 年 4 月 8 日(火) 18:00</td><td>総会</td></tr><tr><td>5 月 13 日(火)</td><td></td></tr><tr><td>6 月 10 日(火)</td><td></td></tr><tr><td>7 月 8 日(火)</td><td></td></tr><tr><td>8 月 5 日(火)</td><td></td></tr><tr><td>9 月 9 日(火)</td><td></td></tr><tr><td>10 月 14 日(火)</td><td></td></tr><tr><td>11 月未定(視察研修)</td><td>7(金)8(土)か 14(金)15(土)</td></tr><tr><td>12 月 9 日(火)</td><td></td></tr><tr><td>令和 8 年 1 月 13 日(火) 18:00</td><td>新春講話</td></tr><tr><td>2 月 10 日(火)</td><td></td></tr><tr><td>3 月 10 日(火)</td><td></td></tr></table>	日程	備考	令和 7 年 4 月 8 日(火) 18:00	総会	5 月 13 日(火)		6 月 10 日(火)		7 月 8 日(火)		8 月 5 日(火)		9 月 9 日(火)		10 月 14 日(火)		11 月未定(視察研修)	7(金)8(土)か 14(金)15(土)	12 月 9 日(火)		令和 8 年 1 月 13 日(火) 18:00	新春講話	2 月 10 日(火)		3 月 10 日(火)	
日程	備考																											
令和 7 年 4 月 8 日(火) 18:00	総会																											
5 月 13 日(火)																												
6 月 10 日(火)																												
7 月 8 日(火)																												
8 月 5 日(火)																												
9 月 9 日(火)																												
10 月 14 日(火)																												
11 月未定(視察研修)	7(金)8(土)か 14(金)15(土)																											
12 月 9 日(火)																												
令和 8 年 1 月 13 日(火) 18:00	新春講話																											
2 月 10 日(火)																												
3 月 10 日(火)																												
3	役員役割分担	<div>写真担当: 清水・砂村 ※全員でも撮る。</div> <div>議事録担当: 持ち回り制(順番を決めて対応) 堀→北浦→これ以降は下記順で回す。 中村→岡本→清水→本田→砂村→表</div> <div>出欠担当: 中村・岡本</div> <div>ホームページ担当: 原稿は各例会担当者が作成する。</div> <div>受付担当: 直前役員会で決定(直前例会の担当者＋補助メンバーなど)</div> <div>懇親会担当: 北浦・本田</div> <div>会計サブ:表敬称略</div> <div>・出欠担当やホームページ作成に関しては、後でやり方やフォーマットを共有する。 特にホームページは、ややこしい部分もあるので入念に共有予定。</div>																										
4	例会案発表	<div>(各案事前提出資料参照)</div> <div>菅原案 5 月例会</div> <div>「現状から始まる！自社分析をしよう！」</div> <div>背景</div> <div>・企業経営において、強み・弱みを把握しながらリソースを適切に分配することが必要。</div> <div>・大企業と比べて中小企業は資金や人材に限られるため、戦略的な意思決定が勝敗を分ける。</div> <div>・特に現代は不安定な時代であり、過去のように単発の投資＋一所懸命だけでは継続が難しい。</div>																										

No	表 題	内 容
		<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営判断を適切に行うために重要な現状把握をする。 ・自社の現状分析を深めること(経営資源の最適な活用につなげる)。 ・46 期で例会を繋いでいく基盤となるように。 ・経営分析の一部に AI を用いて活用法を探る。 <p>手法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3C 分析を行う ・3C 分析は膨大なボリューム感になるため AI を使用し PEST、5 フォース、SWOT を作成、添削し完成を目指す。 ・グループワークを行い、最終的にグループ内で 1 名ずつ発表。 <p>堀案</p> <p>① 世にないサブスクを創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社での「定額で～し放題」ビジネスの可能性を見出す。 ・販路を見出すという視点で会員間の意見や思考をヒントにしなが自分自身だけではたどり着かなかったアイデアの発見を目指す。 ・短い座学＋ワークショップ形式で進行する。 <p>② 遠慮のない経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業では特に組織内の人間関係や慣習に囚われすぎて企業の成長が阻害されることが多いことを背景に、解決策の一つとして「識学」というマネジメント論に触れる。 ・「識学」とは、マネジメントをとにかく仕組化していくことで再現性の高い経営を実現し企業の飛躍を促すことを目的としたマネジメント論。 ・手法等は相談しながら決定したい。 <p>清水案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社において退職者が出ているという現実と業務の属人化が存在しているという課題から、解決策を模索している。この課題にの一助になる術を学び例会にしたい。 ・業務の効率化、コスト削減の為自社にRPAを導入して定型業務を簡略化出来たらと考えている。具体的に学んで、実践に移せるための知識や運用の仕方などを知りたい。 <p>岡本案</p> <p>① 新入社員による自社紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入会員 3 名が自社の紹介をし、事業の展望や現在の課題を共有する。 ・現在抱えている課題について意見を募り、解決のヒントを得る。 ・20 分程度のパワポ発表 <p>② 経営者の選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営における意思決定の重要性を学び、経験を共有する。 ・経営者の先輩会員が経験した「選択」について語ってもらい意見交換を行う。 ・その選択がどのような影響を及ぼしたかを共有。 ・今後の意思決定に活かせる学びを得る。

No	表 題	内 容
		<p>③ 事業継承</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業承継について学び、準備すべきことを整理する。(どんなことを知っておくべきなのか、どんなことが出来るようになっていけばよいのか等) ・ 経営者と後継者それぞれの視点から、承継について話し合う。 ・ 事業承継の際に必要な準備(財務・経営権・人材育成)。 ・ 経営者が後継者に期待すること、後継者が身につけるべきスキル。 <p>④ 5フォース分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目的: 競争環境を分析し、経営戦略を学ぶ。 ・ 進行: 5フォース分析の基礎を学び、グループワークを実施。 <p>中村案</p> <p>① デザインとデジタル活用スキルでビジネスを加速する経営者講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営者向けに デザインスキル や デジタルツールの活用 を学ぶ講座。 ・ UI/UX の基本 も経営者が知っておくことで、社内外のデジタル戦略をリードできるように。 ・ 実際に 動画などのコンテンツ制作 にも触れ、具体的な活用方法を学ぶ。 ・ 経営者は デザインの詳細な知識は不要 だが、基本的な概念を理解しておくべき。 ・ デジタル活用を推進する立場 として、トップダウンで指示を出せるようになることが重要。 ・ 社内のブランディングやマーケティング にも活かせる。 <p>② 実践的セキュリティ講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サイバーセキュリティの基本 を学ぶ講座を提案。 ・ サプライチェーン内でのリスク(大手企業との取引時に、弱い部分が攻撃対象になる可能性)についての理解を深める。 ・ 基本的なセキュリティ対策の重要性(例: 個人用 USB を会社 PC に挿すリスク、不審なメールや添付ファイルの危険性など) ・ セキュリティ意識は経営層から広めるべき ・ トップが知識を持ち、社内ルールとして定着させる必要がある。 ・ 事例を交えながら、経営者に実感してもらう形式。 <p>③ トップが使うための生成 AI 活用勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 異業種の経営者同士で新たなビジネスアイデアの創出を促進する目的。 ・ 経営者がどのように AI を使っていくのか具体的な活用法を学ぶ。 ・ マクロミクロの視点を持った経営手法を探求し実務に活かす。 ・ トップが積極的に導入することで、現場にも広がる。 ・ 分析データを AI で グラフ化し、視覚的に分かりやすくする ことで、従業員に伝えやすくなる。 <p>本田案 候補一覧</p> <p>「内部に関するテーマ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マネジメント講座 組織運営や、リーダーシップに関する学びの場 ・ ブランドの作り方 企業ブランディング戦略についての勉強会

No	表 題	内 容
		<ul style="list-style-type: none"> ・会計・財務の勉強 経営者向けの会計・財務基礎講座 ・マーケティング勉強会 ランチェスター経営戦略の活用 SWOT 分析を活用した経営戦略の立案 ・経営計画書の作成 実際に経営計画を作成するワークショップ <p>「外部に関するテーマ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法律政治雇用に関する講座 労働法、メンタルヘルス等 ・海外、国政の状況についての勉強会 海外経済や国政が与える影響について学ぶ ・SDGsに関するもの <p>「文化や地域に関するテーマ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路城について学ぶ 講師付きツアー等 ・地域の気質を学ぶ 姫路や播磨地域の気質について研究する [ハリマカタギ] ・戦国武将の戦略をSWOT分析する(著書参考) <p>「健康に関するテーマ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストレッチ・体験型健康講座 経営者の健康意識の向上を目的とする 力強い経営には体の健康が必須であるという意識づけ <p>表案</p> <p>① 自社と自分の歴史を年表化し振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自社のターニングポイントを言語化する。 ・自社の強みや、立ち位置を再認識。 ・他業種の事例から新たなヒントを得る <p>② SWOT分析による自社の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客観的に自社を見つめ直す。 ・他社の発表を聞き、新たなヒントを得る。 ・定期的を実施することで環境の変化に適応しやすくする。 <p>③ 社会課題の解決に自社の強みを活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・姫路や業界が抱える課題に目を向け自社の本業を通じて解決策を考える。 ・企業の強みやブランド価値を向上させる。 ・求職者へのアピールになる。

No	表 題	内 容
		砂村案 「経営者としての自分軸」 <ul style="list-style-type: none"> ・自分軸を再確認 ・経営者自身の判断基準や考え方を整理（経営理念にも関連） ・判断基準を明確にし、指針を持つ。経営のブレを防ぐ ・新たな事業の意思決定や外部への対応に生きる ・振り返ることで、足元を固める
5	視察研修案について	砂村案 中川政七商店 奈良 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の工芸を支援し、職人の経営支援を行う企業。 ・職人を経営者として育てることで、伝統工芸の存続を図る。 ・YouTube でも発信しており、若い世代を巻き込んだ興味深い取り組みをしている。 ・「経営がない会社は潰れる」 本田案 HOSOO 京都 <ul style="list-style-type: none"> ・伝統工芸の新たな展開例として、テキスタイルや壁紙事業に進出。 ・もともとは西陣織の卸問屋。 ・海外ブランド（プラダ、ルイ・ヴィトンなど）とのコラボ実績あり。 ・伝統産業の新たなビジネスモデルとして参考になりそう。 表案: 大阪・関西万博 <ul style="list-style-type: none"> ・2025 年開催の大阪・関西万博への視察。 ・最新の技術や企業ブースを見学し、今後のビジネスのヒントを得る。 ・今年しかチャンスがない。 堀案 源田紙業 京都 <ul style="list-style-type: none"> ・1673 年創業の老舗企業。伝統工芸品（水引など）を扱う。 ・長寿企業の経営戦略を学ぶ機会として適切。 その他の意見 <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取、福井、和歌山、岐阜、愛知など、未訪問の地域を視察候補とする。 ・旅館・温泉とセットにして懇親も兼ねる案も検討。
6	分科会について	分化会の位置付け ここ数年の分科会の傾向 <ul style="list-style-type: none"> ・「座学的な勉強型ではなく、体験的な学びの場」として開催されている。 ・例会にするほどではないが学びたいというテーマをカバーする場として活用。 ・過去には、ビジネスマナー、テーブルマナー、健康管理、フィットネス体験 などの 今年の方針(案) <ul style="list-style-type: none"> ・より実践的な学びに特化していきたい。 ・経営スキル向上（会計、労務、マーケティング、法務など）に特化し、講師を招いた連続講座の実施を検討（T 公認会計士・M 社労士の講義など）。 ・会員のスタッフ（社員）も参加できる形を模索。

No	表 題	内 容
7	その他	<p>4 月の総会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開始 18:00 集合時間は後日決定(余裕を持った形になると思う) ・懇親会からが 46 期の仕事となる。この日の仕事は主に写真を撮る程度。 ・懇親会の途中で一言ずつ意気込みをコメントする機会がある。 <p>会員増強のための独立した委員会設置の提案</p> <p>提案内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員増強を専門に担当する独立した委員会(増強委員会)を設立する ・ 役員会とは別で委員長を立て、運営を委員会主体で進める ・ 役員会との連携を取りながら、より多くの人を巻き込み、会員増強に本格的に取り組む <p>現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現状では、役員が主体となって増強活動を行っているが、役員の関与が薄れると活動が停滞する傾向がある ・ 毎年継続的に行うべき活動 であり、単年度で終わらせるのではなく、ナンバリングをつけて継続的に運営 していく仕組みが必要 ・ 役員会と増強委員会で役割を分担することで、より効果的に会員増強が進められる <p>運営のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員会が主体となり、人を集めるための例会を企画・運営する ・ 委員会メンバーは途中参加も可能 とし、新規会員が運営に関わる機会を増やす ・ 1 年に 1 回、増強に特化した例会を担当し、集中して活動できるようにする ・ 例会をオープンにするなど、新しい会員獲得のための仕掛けを考える <p>設置するとどうなるか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的な増強活動が実行でき、属人化しない ・ 新しい会員が運営に関わることで、会への理解や認識がしやすくなる ・ より多くの人を巻き込んだ増強活動が可能になる ・ 会員増強を「単発の取り組み」ではなく「組織的・継続的な活動」として確立し、安定した運営につなげることが目的
8	準備役員会日程	<p>第 2 回① 令和 7 年 2 月 14 日(金)19:00- 菅原乳業(株)会議室 三役+砂村、本田、中村</p> <p>第 2 回② 令和 7 年 2 月 17 日(月)19:00- 菅原乳業(株)会議室 三役+表、岡本、清水</p> <p>第 3 回 令和 7 年 2 月 28 日(金)19:00- 菅原乳業(株)会議室</p> <p>第 4 回 令和 7 年 3 月 13 日(木)19:00- 菅原乳業(株)会議室</p> <p>第 5 回 令和 7 年 3 月 17 日(月)19:00- 菅原乳業(株)会議室</p> <p>第 6 回 令和 7 年 3 月 27 日(木)19:00- 菅原乳業(株)会議室</p>

【宿題】

・第1回の内容をふまえ、各々出席予定の第 2 回の準備役員会に例会案をブラッシュアップしてくる。(企画案フォーマットの背景、目的、手法を記入する。)